

事務事業名 天拝山観月会開催事業（市祭「天拝山観月会」補助）

出力日：令和06年03月18日

キーコード：479

施策：	06	観光の振興	財務コード	01060103-06-394
基本事業：	01	観光資源の活用	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	温泉利用客数 市祭等のイベントにおける物産品売上額		担当課	商工観光課
			担当係	商工観光担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
「天拝山観月会」実行委員会		市祭「天拝山観月会」の開催の為に組織する実行委員会（「天拝山観月会」実行委員会）の活動費として補助金を交付する。 【補助金交付の流れ】 補助金交付申請書提出 補助金交付決定通知 補助金交付 実績報告				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【天拝山観月会の概要】 ・日程：9月～10月の中秋の名月もしくは満月 ・場所：天拝公園 ・主催：「天拝山観月会」実行委員会（市、商工会、観光協会等） ・内容：御神火点火、ステージイベント、お茶会、市内事業者による出店等				
「天拝山観月会」実行委員会によって、本市祭の運営が活性化し、市民等来場者が本市祭および市内観光・物産に対して魅力を感じることができている。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
「天拝山観月会」への来場者数	人	0	10,000	10,000	10,000			10,000
「天拝山観月会」での物産品売上額	円	0	205,090	300,000	300,000			300,000

5. コスト								
事業費	計	千円	0	3,600	3,600	3,600		
	国	千円	0		0	0		
	県	千円	0		0	0		
	地方債	千円	0		0	0		
	その他	千円	0		0	0		
	一般	千円	0	3,600	3,600	3,600		
正職員人工数	人工	0.7	1	1				
正職員人件費	千円	5,545	7,728	7,815				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	5,545	11,328	11,415	3,600			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	イベントの性質上、正確な来場者数の把握は困難だが、本市を代表する祭りの一つとして定着しており、毎年約1万人の来場者で賑わっている。							
どちらかといえばあがっている	平成27年度から、祭りでの物産品売上額を把握するようにし、新たに成果指標に設定していることから、今後は成果向上に向けて取り組みを進める必要がある。							
あがっていない（停滞・低下）	令和4年度は3年ぶりに開催し、3密防止のため開催時間を繰り上げたり、花火を実施しないなどの工夫を行ったが、どの時間帯も会場の中には来場者が一定数おり、例年と変わらない賑わいがあった。							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	あり	本事業は90年以上もの歴史があり市民に定着した祭りとなっている事業内容がマンネリ化しないようイベントの工夫を行なっている。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり					
成果向上余地	中程度							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

歴史ある本事業の伝統を大切にしながらも、本市の魅力を外に発信できるような新しい取り組みを取り入れていく。								
--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
この祭の起源は、大正13年に菅公ゆかりの天拝山を中心として始められもので、平成元年に市祭の一つとして、観光協会、商工会、市が中心となり実行委員会を構成し開催している。				昨今の人件費・物価高騰に伴い警備費等が上がっているため、実行委員会より補助金増額を求められている。				

事務事業名 二日市温泉活性化事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1638

施策：	06	観光の振興	財務コード	01060103-12-398
基本事業：	01	観光資源の活用	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	温泉利用客数 市祭等のイベントにおける物産品売上額		担当課	商工観光課
			担当係	



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成24年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民、市外住民			市内で開催される祭り等のイベントにて、来場者に御前湯の入浴割引券を配布し、二日市温泉をアピールする。 割引 100円 × 100人 = 10,000円 割引券印刷代 18,700円							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
筑紫野市の観光に欠かせない二日市温泉が広く知られ、駅やインターが近い交通の利便性を生かし、多くの観光客が訪れることで、市の観光全体の活性化につなげたい。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標	
二日市温泉の入湯客数		人	198,564	262,881	400,000	400,000			400,000	
5. コスト										
事業費		計	千円	20	29	30	100			
		国	千円	0		0	0			
		県	千円			0	0			
		地方債	千円			0	0			
		その他	千円			0	0			
一般	千円	20	29	30	100					
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1					
正職員人件費		千円	792	773	782					
トータルコスト(事業費 + 正職員人件費)		千円	812	802	812	100				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		御前湯の入浴割引券を配布し、二日市温泉をアピールする目的で予算計上している。 令和2年度は、藤まつり、天拝山ロードレース大会ともに新型コロナウイルス感染症防止対策による中止に伴い、入浴割引券の配布は実施できていない。 令和3年度は、筑紫野もみじ祭にて入浴割引券を配布。利用者は79名。 令和4年度は、筑紫野もみじ祭及びもみじ祭イベントにて入浴割引券を配布。利用者は102名。 【二日市温泉入湯客数】 H28:378,036人、H29:363,483人、H30:339,206人、R1:327,407人、R2:197,869人、R3:198,564人、R4:262,881人								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	観光資源を活用し誘客を図る取り組みが必要である。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
引き続き、温泉利用客増になるよう検討していく。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
二日市温泉の活性化を図る。観光客の誘致。										

事務事業名 観光振興対策補助事業（観光協会）

出力日：令和06年03月18日

キーコード：478

施策：	06	観光の振興	財務コード	01060103-09-397
基本事業：	02	観光推進体制の充実	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	観光協会の会員数 観光ボランティアによる年間案内件数		担当課	商工観光課
			担当係	商工観光担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市観光協会			市の観光振興の中心的な役割を担う筑紫野市観光協会の活動の活性化の為に補助を行うもの。 【補助金の流れ】 補助金交付申請書提出 補助金交付決定通知 補助金交付 実績報告 【筑紫野市観光協会の活動内容】 ・観光情報の提供 ・観光パンフレット（ちくしのめぐり散策マップ等）作成 ・地域環境整備事業（藤・紫陽花・石楠花の植栽、歌碑・句碑・案内板等の整備・清掃） ・筑紫野市活性化事業への参加（二日市温泉藤まつり・天拝山観月会・いきいき商工農フェスタの実行委員会への参加） ・ちくしの物産振興会事業、ほっと二日市事業への協力						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）						
筑紫野市観光協会の活動を支援し、協会の育成・活性化を促進することで、市内観光の魅力が高まっている。									
成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標	
観光案内受付件数	件	実績 1,535	実績 2,444	当初 5,000	要求 5,000	計画	計画	5,000	
5. コスト									
事業費	計	千円	4,500	4,500	4,500	4,500			
	国	千円	0		0	0			
	県	千円	0		0	0			
	地方債	千円	0		0	0			
	その他	千円	0		0	0			
一般	千円	4,500	4,500	4,500	4,500				
正職員人工数	人工	0.2	0.4	0.3					
正職員人件費	千円	1,584	3,091	2,345					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	6,084	7,591	6,845	4,500				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	観光案内受付件数は、藤まつり（4月）や観月会等（9月～11月）の市内イベントの時期に多く、梅雨時期（6月～7月）や年末（12月）に少ないという傾向がある。件数も通常年間4,000件程度あり、市内観光に対する情報提供機関として一定の役割を担っている。 令和2年度、3年度、4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い藤まつりは開催中止となったため観光ボランティア活動は行っていない。ボランティア活動内容は、まつり会場に案内所を設け現地を案内する方法と史跡前に待機する方法。ボランティアの高齢化と後継者不足が課題。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	観光協会の事務所は、JR二日市駅改札口そばの市民ホールと隣接しているが、施設が老朽化しており、観光協会の活性化や市民ホールの有効活用を検討する上で課題となっている。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
施設改善にはJR九州との協議が必要であり、短期的な解決は難しいことから、ソフト面でマイナス要素を減少する取り組みを実施していきたい。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
観光協会は、昭和28年二日市町役場に二日市温泉観光協会として設置されたが、昭和30年の町村合併により一旦休止し、昭和34年から活動を再開、昭和53年に筑紫野市観光協会として改称した。平成28年度にホームページのリニューアルを実施した。					<平成30年度> 会員数：93名、観光ボランティア実績：24回 <令和元年度> 会員数：94名、観光ボランティア実績：27回 <令和2年度> 会員数：93名 <令和3年度> 会員数：91名 <令和4年度> 会員数：88名				

施策：	06	観光の振興	財務コード	01060103-01-392
基本事業：	03	観光情報の発信	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	観光協会ホームページアクセス件数 報道機関への観光情報発信件数		担当課	商工観光課
			担当係	商工観光担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
・市民 ・観光客			< 事業の概要 > 観光振興に関する一般的な経費を支出する。 < 令和4年度事業費の内訳 > ・観光振興関連消耗品費・役務費 ・観光パンフレット（ちくしのさんぽ）印刷費 ・観光振興関連団体負担金（計4団体） 福岡県観光連盟（負担金額：60千円） 福岡県観光温泉地協会（負担金額：95千円） 福岡地区観光推進協議会（負担金額：26千円） 福岡県観光推進協議会（負担金額：129千円）							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
市民および観光客が市内観光情報を必要な時に確認することができ、市内観光地や各種イベントに対して魅力を感じることができている。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標	
チラシの配布部数		部数	2,638	5,141	2,700	3,000			1,900	
5. コスト										
事業費		計	千円	412	618	623	673			
		国	千円			0	0			
		県	千円			1	0			
		地方債	千円			0	0			
		その他	千円			0	0			
一般	千円	412	618	622	673					
正職員人工数		人工	0.1	0.2	0.2					
正職員人件費		千円	792	1,546	1,563					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,204	2,164	2,186	673				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	本市の観光入込客総数は、毎年秋頃に調査を行っている。令和4年分の調査は令和5年5月頃に行った。 【観光入込客総数】 H26:1,883千人、H27:1,823千人、H28:1,919千人、H129:1,857千人、H30:1,785千人、R1:1,818千人、R2:1,363千人、R3:1,278千人、R4:1,547千人 【観光協会HPアクセス件数】 R2:20,329件、R3:38,097件、R4:48,075件									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	観光情報の提供手段の一つとして、観光パンフレットを作成しているが、その設置場所が主に市内となっているので、市外の方に本市の魅力を実効的に発信できていないことが課題となっている。 観光関係機関等に負担金を出しているが、その趣旨・目的が本市観光行政に寄与するものとなっているかが不明確になっている。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
観光パンフレットを市外の多くの人が集まる場所（例えば、駅や旅行会社）等に設置することや、新たな情報発信の手法を検討することで、本市の観光振興を総合的に支援できる事業にしていくなければならない。ホームページやSNSによる積極的な情報提供。				現在4つの関係機関・団体に交付金を出している。それぞれの機関・団体に対して、組織の目的・負担金算出根拠・事業内容等の調査を行い、現在もその組織に加入する必要性があるのか精査していかねばならない。 「温泉所在地都市協議会」は平成30年度で脱会した。						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
「九州観光推進機構」が実施した、外国人観光客が選ぶ「九州温泉地コンテスト2015」で、二日市温泉が11位となった。										